

議員 西部笹目地域の交通状況は年々激しくなっており、通学路の安全性について様々な要望が出されている。

このような現状に対して、地域別に、子どもの視点に立って、計画的に関係機関と学校で、安全点検実施検討委員会の設置をしては。

議員 通学路の点検を定期的に行い、保護・誘導等の万全や登下校の実態を把握し、実態に即した指導を徹底します。



▲通学路に横断歩道の設置を

名、上申書を尊重するとともに、本市の墓地埋葬等に関する法律施行条例等の適用を厳格に解して、対応してまいります。

議員 南原町会が自主的に行ってきた廃乾電池ポストの活用を廃止するのではなく、収集車の作業員が、ある程度貯まった段階で袋に入れて収集し、作業の簡素化や分別の明確化を図っては。

議員 南原町会が自主的に行ってきた廃乾電池ポストの活用を廃止するのではなく、収集車の作業員が、ある程度貯まった段階で袋に入れて収集し、作業の簡素化や分別の明確化を図っては。

議員 ①笹目6丁目の墓地建設反対運動について、どう考えるか。

議員 ①墓地埋葬等に関する法律施行条例の経営者の基準及び設置場所の基準について、県からの権限委譲に伴う条文の整備は。

議員 ①笹目6丁目の墓地建設反対運動について、どう考えるか。

議員 ①エコマネーの研究・関係部署への調査研究等の具体的な指示は。②どの分野で、どのような形式で実践できるのか。③福祉、環境、教育などの分野でのモデル地域、またはモデル事業を設定し、その地域、事業でのエコマネーのモニターを実施しては。

議員 不法投票対策は ①環境美化条例の制定は。②環境保全指導員制度の考えは。③不法投票処分に補助制度の考えは。④昼夜間対応可能である、監視カメラの導入は。



▲市民活動の活性化に

地域通貨の導入を！

ふれあい・支え合いのきっかけづくり

議員 平野 進

コミュニティ推進課・総合政策室において、すでにエコマネーを導入して、大きな成果を上げています。

議員 現在、全員公募の形での市民懇話会として「地域通貨で市民活動を楽しめる会」を設置して、研究しています。

議員 行政主導の事業としての位置づけではなく、あくまでも市民の皆様の中からアイデアを出して頂きながら検討していく考えです。

議員 ふるさと祭りでも市民の皆様の中からアイデアを出して頂きながら検討していく考えです。

不法投票対策は

議員 不法投票対策として ①環境美化条例の制定は。②環境保全指導員制度の考えは。③不法投票処分に補助制度の考えは。④昼夜間対応可能である、監視カメラの導入は。

新行政改革大綱の見直しを

議員 本橋 健造

議員 大きな改革を実行するには、トップダウンと直轄プロジェクトによる事業の推進が必要では。

議員 行政改革の実効を上げる方策として、委託事業や補助金の精査、見直しを。



▲どっちが長く続くかな

育園のあり方 男女共同参画 や少子高齢化 社会における労働力問題、また、核家族化における子育て経験不足の中で進む子育ての社会化や、公私の役割分担、さらに福祉サービスと利用者負担等について、総合的に検討を進めていきたい。

議員 行政のスリム化を進めるため、職員の職種変更、配置転換が必要では。

議員 「ムダなく効率的な行政運営を実現するため、内部努力により行政のスリム化を強く遂行する」という、行政改革の基本的な考え方を基に、これを推進するため、積極的に職員の有効配置、活用を進め、職員の職種転換等の見直しを進めたい。

議員 行政改革の実効を上げる方策として、委託事業や補助金の精査、見直しを。

議員 行政改革の実効を上げる方策として、委託事業や補助金の精査、見直しを。

議員 行政改革の実効を上げる方策として、委託事業や補助金の精査、見直しを。

ITでいい戸田を創造

「e-Toda」プラン

議員 中島 浩一

議員 電子自治体の具体的な計画と、その中で市民の享受できるサービスは何か。

議員 16年度までに、市内の公共施設をブロードバンドで結び、家庭からの行政相談や映像を学校とやりとりするなど、地域イントラネットを活用できる基盤整備を行います。

議員 来年度配布予定の住民基本台帳ICカードで、電子マネーやエコマネーや保健・医療・福祉などの多目

議員 来年度配布予定の住民基本台帳ICカードで、電子マネーやエコマネーや保健・医療・福祉などの多目



▲真剣そのものです

議員 公民館などでIT基礎講習、ステップアップ講習、はじめてのパソコン講習等を、今後とも充実させてまいります。「ITボランティアの会」の協力を得て、相談コーナーをさらに充実してまいります。

議員 15年度に、職員が自席から情報発信できるように考えております。電子会議室については、検討課題といたします。

議員 15年度に、職員が自席から情報発信できるように考えております。

議員 15年度に、職員が自席から情報発信できるように考えております。

議員 15年度に、職員が自席から情報発信できるように考えております。

議員 15年度に、職員が自席から情報発信できるように考えております。

議員 IT化は、組織の改革や行政改革との連動が必須だが、行政を視野に入れた職員サイドのパソコンへの取り組みは進んでいるか。

議員 1人1台パソコン体制もできて、グループウェアも活用して、事務処理の効率化、迅速化を図っています。職員も、自らパソコンで情報加工できるように取り組みます。

議員 子どもからお年寄りまで、幅広くITに取り組むための講習会は、今後の継続、全市的な展開ができるか。また、市民が気軽に相談できるITヘルプ制度は確立できないか。

議員 公民館などでIT基礎講習、ステップアップ講習、はじめてのパソコン講習等を、今後とも充実させてまいります。「ITボランティアの会」の協力を得て、相談コーナーをさらに充実してまいります。

議員 公民館などでIT基礎講習、ステップアップ講習、はじめてのパソコン講習等を、今後とも充実させてまいります。「ITボランティアの会」の協力を得て、相談コーナーをさらに充実してまいります。

議員 公民館などでIT基礎講習、ステップアップ講習、はじめてのパソコン講習等を、今後とも充実させてまいります。「ITボランティアの会」の協力を得て、相談コーナーをさらに充実してまいります。